

会議名	実務家教員育成研修プログラム開発部会（令和3年度第1回）		
日時	令和3年6月25日（金）10:30～12:00		
場所	オンライン（Zoomミーティング）		
出席者（計17名，委員10名，事務局7名，敬称略）：			
カテゴリ	所属（学校等・部門・部署）	役職	氏名
産	一般社団法人近畿建設協会	部長	先本 勉
産	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与	◎田底 成智
産	西日本高速道路株式会社 関西支社	構造担当部長	佐溝 純一
産	西日本高速道路株式会社 技術環境部	技術研修・開発担当課長	三好 真史
官	国土交通省近畿地方整備局企画部	技術調整管理官	増田 安弘
学（連）	福島工業高等専門学校	准教授	江本 久雄
学（連）	長岡工業高等専門学校	准教授	宮寄 靖大
学（連）	福井工業高等専門学校	教授	辻野 和彦
学（代）	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	○玉田 和也
学（連）	香川高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	林 和彦
事務局	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野 貴元
事務局	長岡工業高等専門学校	助教	白井 一義
事務局	長岡工業高等専門学校	特命助教	丸山 聡
事務局	福井工業高等専門学校	特命助教	宮川 清剛
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 園恵
事務局	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	入江 正樹
◎：部会長 ○：副部会長			
議事次第			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也</li> <li>2. 部会長挨拶 （一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部 参与 田底 成智 様</li> <li>3. 実務家教員育成研修プログラム（2021年度実証講座）開催概要（報告）</li> <li>4. 実務家教員育成研修プログラム（2021年度実証講座）の評価・検証について（審議）</li> <li>5. まとめ</li> <li>6. その他（今後の予定，事務連絡等）</li> </ol>			
			以上



写真1 田底部会長挨拶



写真2 玉田副部長（事業責任者）挨拶



写真3 Zoom ミーティング画面

## 実務家教員育成研修プログラム開発部会（令和3年度第1回）議事録

日時：令和3年6月25日（金）10:30～12:00

場所：オンライン（Zoom ミーティング）

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也
2. 部会長挨拶 （一社）建設コンサルタント協会近畿支部 参与 田底 成智 様
3. 実務家教員育成研修プログラム（2021年度実証講座）開催概要（報告）
  - ✓ 高度な実務経験や専門的知識を有する方から多数の応募があり、選考の結果、定員10名のところ、受講者15名で実証講座を開催することとした。
  - ✓ 欠席時のフォロー体制含め、8カ月の長期プログラムへの配慮がなされている。
  - ✓ 部会委員には、可能な限りeラーニングや講習会を体験いただき、評価・検証の観点でご指導をいただく。
  - ✓ eラーニングは、部会委員にIDをお知らせして内容確認いただく方向で検討する。

- ✓ プログラムで使用する教科書（2冊）の部会委員への配布は事務局で検討する。
- ✓ プロパーの高専教員が、実務を身に着けて実務家教員を目指すことも有効だが、本事業では、実務家が教える技術を修得する方向で取り組む。

#### 4. 実務家教員育成研修プログラム（2021年度実証講座）の評価・検証について（審議）

- ✓ 本部会では、プログラム全体構成やプログラム内容について産官学の立場から大所高所の視点で評価・検証を行うとともに、講習会のオペレーション等も評価する。
- ✓ 各講座（eラーニング，講習会）の評価・検証は，部会委員が分担して実施する。
- ✓ 各講座に一人，評価・検証の責任者を設定する。
- ✓ 分担講座について，部会委員を対象に希望等アンケート調査を行い，その結果をもとに部会長と相談の上で決定する。
- ✓ 講習会のWEB配信や，オンラインによる評価・検証について検討する。
- ✓ eラーニング講座のアンケート項目のうち，ボリュームに関する問いの選択肢“どちらともいえない”を“ちょうどよい”に修正する。
- ✓ 評価の視点（必要性，有効性，効率性）と，アンケートや評価・検証の項目の紐づけを明確にする。
- ✓ 部会委員の他，学生，講師，受講者間など，多様な視点で評価・検証を行う。
- ✓ プログラム修了者の合否判定や認定審査は，別途専門の審査委員会で行う。
- ✓ プログラムの提出課題等の内容に受講者の個人情報が含まれるため，受講者への連絡メールアドレスを分ける等，個人情報管理やセキュリティ対策を実施している。
- ✓ 個人情報等の取り扱いについては，受講者向けに明文化を図ることとする。

#### 5. まとめ

- ✓ 合同会議において，田底部会長より審議結果を報告する。
- ✓ 次回の合同会議が年明けとなるため，中間報告も検討する。

#### 6. その他（今後の予定，事務連絡等）

以上